



種ごと食べられるスイカ生産用花粉「TANE FREE」

## 授粉マニュアル

TANE FREE は不活化した花粉を雌花に授粉し、白くて薄い柔らかい種（シイナ種）しかないスイカにできる栽培技術です。大玉・小玉・赤肉・黄肉関係なくTANE FREEを使用するだけで種ごとそのまま食べられるスイカになります。種が黒くなるまでの余分なエネルギーを使って食味・甘味が向上する傾向にあります。



種子比較（左が通常栽培、右がTANE FREEで栽培）

### 保冷に関する注意事項

- 「TANE FREE」は、要冷凍です。使用直前まで冷凍庫で保管してください。
- 畑へ持っていくときは、必要な袋数のみ保冷剤(200gを3個以上)と共にクーラーボックスへ入れ、冷凍状態を維持してください。
- クーラーボックスはハウスの外の涼しいところに置き、アルミパックはハウス内で1袋ずつ開封して使用してください。露地では花粉が飛ばされないよう注意してください。
- 「TANE FREE」は、開封すると直ぐに使用できます。解凍は必要ありません。
- 「TANE FREE」開封もしくは未開封で常温にさらすと、その時点から花粉の劣化が始まりますので、開封後は速やかに授粉して2時間以内に使い切るようにしてください。
- 「TANE FREE」は、使いきりです。開封後は残っても再冷凍しないでください。再冷凍した花粉は劣化しておりますので着果不良や変形果の原因になります。
- 保冷剤が柔らかくなり始めたら、保冷機能が失われつつあります。未使用の花粉は直ちに冷凍庫へ戻してください。
- クーラーボックスから「TANE FREE」を取り出し、薬包紙を開き瓶等に花粉を移し、筆で授粉してください。筆は、「べんてるPentelXZBS1-0画筆ウマゲマル0号」を推奨。

### 1 雌花あたりの授粉量について

1雌花あたりの授粉量の目安は、約0.5mgです。30mgパックで約60回の授粉が目安です。

商品名	容量	授粉目安回数
TANE FREE花粉 15	15mg	約30回
TANE FREE花粉 30	30mg	約60回
TANE FREE花粉 60	60mg	約120回



### 栽培についての注意事項

- 低温、曇天が続く環境下では、着果不良あるいは変形果の原因になります。最低気温15℃以上、晴天時の授粉をお勧めします。
- 授粉は、雌花が開花する早朝から行ってください。
- 筆が水や蜜で濡れた場合は、筆を交換してください。
- 虫（特にミツバチ）がいると、普通の花粉が受粉され黒種になりますので、虫のいない環境での授粉を行ってください。虫による虫媒が心配な場合は、雌花のクリップ止めを推奨いたします。
- 「TANE FREE」は、普通の花粉よりも花粉管の伸長が遅いので、初期肥大が遅めですが、授粉から約10日で通常の大きさに追いつきます。
- 早熟傾向にありますので、通常より2～3日早めの査定をしてください。
- 「TANE FREE」を授粉した株には、予備玉でも普通の花粉は絶対に授粉させないでください。普通の花粉を授粉した雌花の方が生長が速くなり、「TANE FREE」を授粉した雌花は着果不良を起こします。



ミツバチの虫媒には特に注意して下さい



虫が心配な場合はクリップ止めを推奨します

### 製造元

株式会社オーレックホールディングス  
〒834-0195福岡県八女郡広川町日吉548-22  
TEL:0943-32-5002 MAIL:kafun@orec.co.jp

